

星野富弘 花の詩画展 in お茶の水

いのちより
大切なもの



詩画展初公開作品を展示

前期特別企画「悲しみも苦しきも」
2012年11月2日(金)～12月30日(日)

後期:2013年 1月4日(金)～ 3月2日(土)

※前期と後期では、一部作品の入れ替えがございます。

開場時間 11:00～19:00(平日・土曜・祝日)

日曜日のみ 12:00～19:00 ※入場は18:30まで

入場料 一般・学生 500円 / 中学生以下 無料

会場/OCCビル 5F(御茶ノ水駅より徒歩3分)

本を被災地へ贈ろう!
会場に、支援金箱を設置して
「いのちより大切なもの」の本を
被災地へ贈る募金を行います。
東日本大震災復興支援プロジェクト

後援:山崎製パン株式会社 / ミヨシ石鹸株式会社 / 株式会社ヴィ・ド・フランス / 株式会社チュチュアンナ
協賛:東日本大震災救援キリスト者連絡会D.R.C.net / キリスト教学校教育同盟 / 日本カトリック学校連合会

主催 / 「星野富弘 花の詩画展 inお茶の水」を開く会 お問合せ先 事務局 TEL.03-5341-6911

星野富弘 花の詩画展 in お茶の水 いのちより大切なもの

絶望の淵から少しずつ前を向いて生きようという気持ちになったところ、星野富弘さんは口で詩や絵をかくことを始めました。1979年、初めて開いた小さな展覧会。一つ一つの作品に宿る不思議な力が、見る人々の心に響いて、その感動はさざ波のように広がっていきました。こうして、今日まで「星野富弘花の詩画展」が日本全国及び海外各地で開かれてきたのです。

日本人に深い喪失感をもたらした東日本大震災。何を失って失われたものは回復するのでしょうか。

星野さんは作品の中で、「いのちより大切なものがあると知った日 生きているのが嬉しかった」と語っています。このたびの「星野富弘 花の詩画展inお茶の水」が、あなたにとって、何よりも大切なものを見つけ出せる時となりますように。

詩画展にあわせて、最新詩画集『いのちより大切なもの』が出版されます。ご期待ください。

痛ければ 痛みの中を
淋しければ 淋しの中を歩こう
上を向いたまま
顔の上にも
動かさず手を置いた
布の上にも
どこまでも続く
広い道がある



1986年「落葉」



星野富弘(ほしのとみひろ)氏プロフィール

- 1946年 群馬県勢多郡東村に生まれる。
- 1970年 群馬大学教育学部保健体育科卒業。中学校の教諭になるがクラブ活動の指導中頸髄を損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 病院に入院中、口に筆をくわえて文字や絵を描き始める。
- 1973年 病室でキリスト教の洗礼を受ける。
- 1979年 前橋で最初の作品展を開く。退院。
- 1981年 結婚。雑誌や新聞に詩画作品や、エッセイを連載。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」を開催。以後全国各地で開かれた「花の詩画展」は、大きな感動を呼ぶ。
- 1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に村立富弘美術館開館。
- 1994年 ニューヨークで「花の詩画展」。
- 1997・2000年 ホノルルで「花の詩画展」。

- 2001年 サンフランシスコ、ロサンゼルスで「花の詩画展」。
- 2003年 ワルシャワ国立博物館で「花の詩画展」。
- 2005年 (新)富弘美術館オープン。
- 2006年 群馬県名誉県民の称号を授与される。
- 2010年 富弘美術館開館20周年。富弘美術館入館者600万人
- 2011年 第一回群馬大学特別栄誉賞受賞。

現在も詩画や随筆の創作を続けながら、全国で「花の詩画展」を開いている。

著書に、新版「愛、深き淵より」、「風の旅」「かぎりなくやさしい花々」「鈴の鳴る道」「対談・銀色のあしあと」「速さのちがう時計」「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「星野富弘全詩集」「山の向こうの美術館」「対談・たった一度の人生だから」「ことばの雫」「種時きもせず」等がある。



花の詩画展と同時発売
星野富弘 最新詩画集
いのちより大切なもの
詩画27点と「いのちより大切なもの」についてのエッセイに加え、絵とことばのコラボ14点を収録。星野富弘が見出した希望と信仰が作品を通して語られる。単行本で未発表の詩画、絵を多数収録。
B5変型判 88頁 No.18100
ISBN 978-4-264-03053-9

(いのちのことば社) 定価1,260円(税込)



花の詩画集
種時きもせず

65点の詩画に加え、18点のエッセイを収録。静かな暮らしのなかで見えてくる自然や人、そして作者自身を、力強い筆致で詩画に描き、エッセイでつづります。

(偕成社) 1,575円(税込)



新版
愛、深き淵より
すべての出発点

読み継がれて30周年
絶望から希望へ！
手足の自由を失った著者が闘病生活の中から生きる証を求め、筆をくわえて字や絵をかけるようになるまでの感動の記録。

(学研) 1,470円(税込)

星野富弘 花の詩画展 in お茶の水 スペシャルイベント (会場 OCCビル8Fチャペル)
11月2日(金)開演PM7:00 フライデーナイト ゲスト岩渕まこと、由美子「いのちより大切なもの」
12月4日(火)開演PM6:30 西 由起子 なかにしあかね ソプラノとピアノによる「星野富弘の世界を歌う」
入場無料 但し12月4日は、東日本大震災被災地支援のための献金があります。他にも様々なイベントが用意されています。

協力:いのちのことば社/お茶の水クリスチャン・センター/グロリア・アーツ 株式会社/株式会社 偕成社/株式会社 学研パブリッシング/JAF MATE/富弘美術館/富弘美術館を囲む会/日本福音同盟(JEA)/日本CGNTV/クリスチャン新聞/キリスト新聞/カトリック新聞/地引網出版/協力:OCCビル入館団体:一般財団法人 太平洋放送協会/株式会社 芸術造形研究所/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会/KGKキリスト者学生会/イムヌエル綜合伝道団/国際ナビゲーター/聖書考古学資料館/東京プレーヤー センター/総動員伝道/CRCメテア・ミニストリー/日本キングス・ガーデン連合/TAC 日本語学舎/日本ケズィック・コンベンション/日本聖化協会/一般財団法人 日本国際航航対策機構/JEMA日本福音宣教師団/マスタードシード・ミニストリー/公益財団法人 国際開発教授財団/JCFN日本人クリスチャン・フェローシップ・ネットワーク/クリスチャン文書伝道団(CLC)/お茶の水聖書学院/アーサー・ホーランド・ミニストリー/ミッションNOW

主催/「星野富弘 花の詩画展 in お茶の水」を開く会 お問合せ先 事務局 TEL.03-5341-6911

会場周辺図 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1

